

August

おかむら通信 208号

令和4年8月号



<ご挨拶>

こんにちは、みなさま、世界はこのところ大変な災難に見舞われていますね。地球規模の気候変動（熱風・干ばつ・大洪水）、先の見えない新型コロナの再流行に、愚かな人間が為した世界的なポピュリズムや、自覚のない腐敗と独裁政治の台頭それぞれがパンデミックに広がり、このままでは地球破滅に向かってしまいます。いまだにロシアのウクライナの国民への残虐な行為は、止まる気配さえありません。われわれ日本人も本気になって不公平な格差の進展改善のため、貧困な力の弱い方々の方を支援をすべきです。

<院長から>

- 1 最近、目立ってきています。血圧の治療に関心が薄れている方が。家庭と診察室ではその値が異なります。また測定値は、しょっちゅう変動します。
- 2 とくに若い方の病識の低さが目立ちます。一般的に薄れているのでしょね。若い、将来のある方の脳内出血や急死はぜったいに避けなければいけません。「高血圧は静かなる殺人者ですよ」また言いました。
- 3 院長の医療姿勢は 早期に診断し治療に介入する、プラスみなさん患者さんの自己管理、言い過ぎかもしれませんが、自己治療（治療の半分は患者さんが関与し、かつするのです）自分で病気を治す力があるのです。
- 4 再び言います。タバコとアルコールを長期的に継続すると、間違いなく下肢血管の動脈硬化、そして動脈閉塞へ向かいます。当院のダイナミックCT(64列)できれいに病変が立体的に描出されます。そうならないようにね。
- 5 家庭での血圧測定は、2日や3日おき、そして測定時間もはかれる時、いつでもいいです。そして ぜひ医師に教えてください。
- 6 最近の PHN（帯状疱疹後ヘルペス神経痛）に対し当院の治療効果が少しづつ良くなってきています。治療開始後、約4か月でほぼ日常生活に戻れるようになってきています。
- 7 現在、諸治療で抗血栓剤を服用されている方の副作用予防のため、胃出血や消化管出血ですが、予防薬と合わせて用いることをお勧めしています。
- 8 いま高齢のかたの受診も増えてきております。大概、いくつもの医療機関を経ておられるために、たくさんの疾病を抱えていらっしゃるケースがあります。全身動脈硬化・冠動脈疾患・脳梗塞、慢性閉塞性肺疾患、腎硬化症、慢性腎不全慢性心不全、慢性膵炎、前立腺肥大、いろいろ癌術後、頸動脈狭窄症、胆石、総胆管結石、大動脈瘤、難聴、認知症、また多いのが精神不安、、、です。これらの疾患を同時に確認し診断・治療をすることになるため、診察時間が大変かかることがあります。





9 庸介先生とともに治療をさせていただいている中、緊急の入院（救急車を呼んだり）また来院して即 専門病院への紹介も増えております。急にあわただしくなったり、お待たせしたりして申しわけありません。

10 新型コロナ変異株 BA5 の次に BA2.75 が出現してきています。感染力は強いが、重症化は少ないと思いますが、日常の手洗い マスク 人ごみへ行かない 集まらない、仕事場の十分な換気に 留意してくださいませ。そして日頃からの体力温存、健康に気を付けてください。

<7月、院長の活動報告>

01/ (金) WEB 東京胆道学会「胆道腫瘍の病理診断」自治医科大学病理学教授
05/ (火) WEB「冠動脈バイパス術・術後心不全に対する治療」新松戸中央病院部長及び大阪医療センター・心臓外科科長

WEB「糖尿病の療養指導について」流山中央病院内科部長

09/ (土) WEB「Heterogeneity of Systemic sclerosis」Paris Cite University, Professor of Rheumatology, Yanik Allanore

11/ (月) WEB「Early management strategies for type2 Diabetes Mellitus Monash University, Professor of Department of Diabetes, Merlin Thomas

12/ (火) WEB「心不全治療について」奈良県立医科大学名誉教授

14/ (木) WEB「分類不能腸炎にひそむMEFV遺伝子関連腸炎について」札幌医科大学消化器内科教授 空手稽古

20/ (水) WEB「前立腺がん検診と薬物治療の変遷」横浜市立医科大学教授

21/ (木) 松戸市立総合病院・形成外科 空手稽古

25/ (月) WEB「腸内細菌叢と認知症」国立長寿医療センター・副センター長

28/ (木) 近隣の草刈り

WEB「認知症の精神・行動アプローチ」筑波大学教授

「認知症の人に寄り添う漢方薬」大井戸診療所院長

29/ (金) WEB「より良い潰瘍性大腸炎の治療について」岡山大学炎症性疾患センター長

31/ (日) 松戸市立総合病院・夜間小児急病センター勤務 夜間

まとめ；海外のドクター達の、医療に関するとっても基本的な考え方、患者さんに寄り添い、あらゆる角度から解決策を真摯に練る姿勢 と 漢方の意外と深い疾病に対する考え方に共通点があるのに気付きました。それはものを総合的にみる、多様性という感覚を基本的におくと見えてきます。

暑い夏！ コロナに

負けない体力を
つけましょう

担当
森 〇

